フィンランドの北カレリア地方の 森の生活

兵庫県立大学緑環境マネジメント研究科 淡路景観園芸学校園芸療法課程 講師 天野玉記

北カレリア地方の森の生活

典型的なフィンランドでの採集生活 森でキノコ・ベリー摘み

(法律;森の中の植物はだれがどこで何を採取してもよい)。 湖で漁をする(定置網がポピュラー)。ボートも個人で持っている。 食事は、森の幸と湖で取れた魚と庭の菜園でとれた野菜やハーブ。 サウナ:バケツで湖から水を運ぶ。薪も小さく割っておく。夕方から準備。 サウナで温まり、湖に飛び込み泳ぐ(サウナも泳ぎも裸のまま) ほぼ毎日サウナに入る。(高齢者は疲れるので1日おき位)

<コメント>

森に感謝しながら森の幸を頂けば森の魂が新鮮なエネルギーを与えてくれる。

森の色々な音、鳥の歌、風の音、すべてがどんな素晴らしい音楽よりも優れていると感じる。

森が心身を共に優しく癒してくれる。

「サウナと松ヤニで直せない病気は死に至る」という諺がある。

森と湖の中での生活







森と湖の中で の生活 サウナ室





「女性客のためのサウナ」と書いてある



薪は森で取って来る 薪割りをする



森と湖の中での 生活

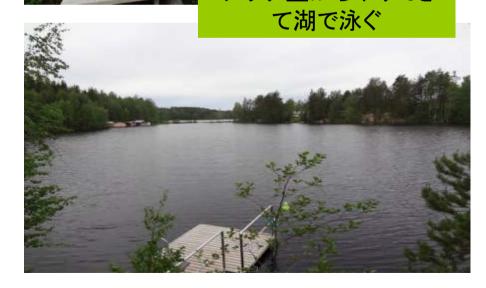
手作りの階段







対岸のお隣さん はるかかなたに2軒見える





湖での漁のための網

森と湖の中での 生活









隣人宅1(老夫婦)





窓から湖が見える

農業と漁を営む

卵や農作物(ジャガイモや玉ねぎなど)を近隣の人が買いにくる農家の老夫婦



隣人宅2 (老夫婦)









本格的なダーツ 奥さんは世界チャンピオン

教会の役割:

高齢者の集会所および伝統的なパンを焼いて販売し、 高齢者の収入を得る活動をしている

• 1階:託児所

• 2階: 教会と高齢

者のパンエ房



パイを販売して収入を得ている





教会の役割:パンエ房



カレリア地方の伝統 的なパイ

カレリアンピーラッカ





カレリア地方の生活についての感想

- サウナ発祥の地:「サウナのない生活は考えられない」
- サウナの中で、温めた白樺やナナカマドの小枝でバサバサと体を叩き、緑の香りを楽しむ。
- 美しい湖畔にあるサウナの楽しみ方:薪を焚き石を焼き、 ゆっくりと体を蒸し、汗が噴き出たところで裸で庭を駆け抜け 湖で泳ぐ・・・(しかし、冷た過ぎて泳げなかった)
- 白夜で、ずっと明るいのでブラインドを下ろさないと眠れない。
 反対に冬は数時間で暗くなるため、長い夜を過ごす楽しみが必要(サウナ・ダーツ・手芸・クラフトなど)
- 夏は植物もよく育つが、蚊も大発生する。森でマッシュルーム・ベリーを採集し、ジャムや乾燥させて保存する。森の恵みを利用する料理の数々がある。
- スーパーでは湖で獲れたサーモンなどの新鮮な魚や露地野菜、乳製品が豊富

フィンランドではサウナと森と湖を十分楽しむ知恵があった